

議会広報特別委員会

日 時	令和4年6月10日(金) 開会中	10時18分 開会 10時38分 閉会
場 所	相良庁舎4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 2番 原口康之	(副委員長) 8番 種茂和男
	5番 加藤 彰	4番 名波和昌
	3番 絹村智昭	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 森田さおり	書記 本杉周平
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

[午前 10時18分 開会]

開会の宣告

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、定刻になりましたので、議会広報特別委員会第1回目を始めたいと思います。

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第67号について

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは事件のほうに入っていきたいと思います。

(1) 牧之原市議会だより「かけはし」第67号についてということで、編集スケジュールについて事務局のほう、お願いいたします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

資料のほうは、編集スケジュール第67号というものをご覧ください。では、資料に基づきまして、簡単にですけれどもご説明させていただきます。

6月定例会の発行号ということになります。

まず、今日、6月10日になりますけれども、第1回の議会広報特別委員会を開催していただきまして、編集スケジュールの決定及びページ構成の検討をいただければと思っております。

その後、一般質問が14日から始まりますけれども、各質問をされた議員の皆様へ、また原稿の提出のお願いのほうをする予定でおります。

6月27日、月曜日ですけれども、本会議最終日になります。その本会議が終わりましたら第2回の広報特別委員会を開催していただきまして、ここでページ構成の最終決定のほうをいただきたいというふうに思っております。同時に総括的な質疑等々と、あと通告質疑ですか、その原稿の提出期限もここで一旦締めさせていただきたいというふうに思います。

7月1日の金曜日ですが、ここで一般質問の原稿の提出期限として、一旦、提出を締めさせていただければというふうに思っております。

次のページにいきまして、7月7日、木曜日になりますけれども、第3回の広報特別委員会を午前9時からということをお願いしたいというふうに思っております。

これにつきましては、質問をされた議員様等からいただきました原稿を基に、事務局で一旦ワードの原稿に落とし込みますので、そちらの確認という形になるかと思っております。

翌日、業者のほうへ持込みをしまして、翌週、15日、金曜日になりますが、午前9時からということで、第4回目の委員会をお願いしたいというふうに思っております。

こちらにつきましては、第3回の委員会が終わった後、業者へ持ち込んだもののゲラが出てきますので、ゲラの確認等をお願いしたいというふうに思っております。

翌週、3連休が終わりまして週が明けましたら、指摘等がありました事項を直したものを業者のほうへ持込みをいたします。

次の週になります。7月25日の月曜日ですけれども、第5回の委員会を午前9時からということをお願いしたいというふうに思っております。

こちらにつきましては、第4回の委員会で指摘がありました事項を直したゲラが上がってきますので、ゲラの2回目の確認という形になります。

第5回目が委員会として、議会の紙面を確認していただく最後という形になりますので、よろしくをお願いいたします。

その後、26日、27日、28日と、少しいろいろな視察等が入ってきますので、それが終わりました、金曜日ぐらいに業者のほうへ持込みをしたいなというふうには思っています。

最後のページになりますが、8月4日、木曜日ですけれども、最終的な原稿の正副委員長での最終確認を午前中にお願ひできればというふうに思っております。

そして、8月15日付で第67号が発行という流れを今のところ想定しております。

以上、説明となりますので、よろしくをお願いいたします。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

以上、スケジュールのほうについては、皆さんに確認していただいて、日程を入れていただければありがたいと思います。

今、事務局のほうからもあったんですけれども、5回目のこれについては、その週、最初のあれなんですけれども、三戸の視察の受入れと広域の施設組合の視察の関係で、少し開催日を早めているので、ご了承ください。

以上です。

何かここまででありましたら、よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、このページ割について、お願いいたします、事務局のほう。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

続きまして、となりのページ割り（第67号）という資料をご覧ください。

横判のものになりますけれども、一番右側が第67号ということで、今回、皆様のほうに編集作業をしていただく号になります。

それから、前4号のほうを参考という形で載せさせていただいておりますので、左端の63号が昨年の同時期の発行号になるかなというふうに思いますので、参考にしていただければというふうに思います。

では、67号の欄のご説明を簡単にさせていただきます。

まず、表紙ですけれども、前回から、市内の保育園等をお願いしております。順番的に今回は、地頭方保育園のほうをお願いする形になっておりますので、この後、これで決まりましたら、また写真の提供について、お願いのほうをさせていただきます。

2ページからになりますが、まず、通常定例会であった質疑等を載せるページになりますが、今回、定例会に関しては、2ページ、3ページ、4ページの3ページで今、収めてあります。

議案もちょっと少ないですし、通告質疑も1件だけ今のところ出ているだけで、総括質疑も3人の方がやられたということで、この後の委員会の審査での質疑等によりますけれども、質疑が前回と比べると少し少ないのかなというところがありますので、2ページの1ページで収まってしまうのかなというところで、今、1ページだけにしております。

3ページ目が補正予算の連合審査の記事ということで、これはこの後、20日ですかね。補正予算連合審査会がありますが、そこでの出方によるものではありませんけれども、取りあえず1ページ確保しているというところでもあります。

4ページになりますが、議案一覧、議案の表決結果を載せるページがありますが、今回、議案が今のところ8件ぐらいだったので、1ページ埋まりませんので、今日、特別委員会を設置したということがありますので、その辺の記事と合わせて1ページにしたらどうかというふうに考えているところでございます。

次の5ページから8ページ分が今回の一般質問をされた方々の個人ページという形になっております。

そうしますと、13ページから裏紙の上半分まで7.5ページですか。そちらが、いわゆる特集ページということで、何か記事を特別につくって載せなければいけないページになるのかなというふうに思っています。

今のところ、赤字で私のほうで入れさせていただいてありますが、これまでの掲載した記事なんかを参考に何個か入れさせていただいてあります。

例えば、提言書のその後ということで、提言書を出して、その後どういうことが当局で行われたかというところを載せるページであったりとか、今年度については議員研修会、議員勉強会をかなりやっておりますので、こういうことをやったよという報告。それと、市民会議を総務建設のほうでも文教厚生のほうでもやられると思いますので、その辺のやった内容等について載せたらどうかというふうに思っています。

裏紙のところになりますが、7月26日、27日ですか、三戸町が来ますので、友好都市ということですので、こういう方が来られたよという記事を最後半分でも載せたらどうかというふうに思っているところではありますが、それにしましても、まだ空欄のページがありますので、また委員会の中で記事の提案等をいただければというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

以上、簡単ですけれども、説明になります。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

ページ割については、先ほどから言われたとおりに、過去の同時期のものと同じような感じで作成していると思います。

今回の定例会は上程の議案も少なく、また、通告質疑が1件、総括質疑が3件と、先ほど言われたとおり、ちょっと少なめで上がってきています。

一般質問も8名ということで、例年、いつもだと10人以上の方が一般質問を行っているのに、今回はこれも少なめというところで、今のところ、入れられる記事に関しては、先ほど事務局のほうから説明があったとおりですが、私のほうから少し、ちょっと古めになっちゃうんですけど、原発の視察が4月ぐらいに行われたんですが、この件に関しても、今、非常にエネルギー等が問題になっていますので、そういうところを含めて、議会としてもそういうところをきっちり視察に行ってきましたよというところのアピールも含めて、この辺も載せたらどうかなと思います。

ほかに、皆さんのほうから記事等がありましたら、次回までにちょっと検討していただいて提出するというような形を取っていきたいと思いますが、その辺、現在までで何かあったら、皆さんのほうからお願いいたします。

石山委員。

○（石山和生君）

64号の提言書の後って、これはどういうふうになっていたんですか。斜線が入っていると思うんですけども。ページが存在しなかったということですか。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

ここは、それこそ、ちょうど改選の時期だったので、9月の定例会が終わったら、すぐに皆さん選挙運動に入られたので、ページ数をぐっと減らして、委員会を開催せずに事務局で全部つくったものですから、ちょっと減らしています。

○（石山和生君）

そういうことですか、分かりました。

減らすということはないですか、今回は。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

一応、契約で20ページになっていますけど、減らす分には予算的などころも下がるだけなので可能かなとは思いますが、その辺も含めて。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

副委員長。

○（種茂和男君）

今、委員長から言われた原発のをやるなら、今度の学校再編のをい〜らでやられるのを、そういうのは議員がみんな行くじゃない。なので、どうかなど。記事的なもので入れるならね。講演会のを聞きに行くと思いますので。少ないけれども。検討の。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

それって、行政が集めているものじゃないですか。それも、そういうふうに議会側のものとして出しているものなんですかね。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺は、これは私のあれですけれども、今までの前例でいくと、行政側の主催するものに関しては、あまり載せない。議会が主催しているものに関しては、積極的に載せているという形を取っていたと思うんですが。

事務局、何か補足があったらお願いします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

多分、駄目だよということはないと思います。一応、学校再編については、要望書なんかも出していますので、そういう意味では、そういう経緯もあってとうまくつなげていくことも全然いいかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

今というか次回ですよ、一応、案として。今あれば言うてくらの、そういう感じですよ。次回で、大丈夫です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ほかは。

名波委員。

○（名波和昌君）

今まではどうだったのか、ちょっと分からないんですが、広域組合とか学組とかの記事って載せたことってあったんですかね。その辺、載せていいのかどうかというのもあるんですけど、ちょうど、結構、広域組合の会議も行われているので、いいのであれば、その辺を。

議員は議会だけじゃないよ。広域組合とか学組へも参加して、いろいろな活動をしているということを知っていただく機会にもなるのかなと、そんな気がしました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

ありがとうございます。

その辺に関しても、私は議会内の仕事ということで、その辺もできればアピールしていければ

いいのかなと考えていますので、その辺も含めて、皆さんのほうからの、出席したほかの組合等の議会における記事なんかも載せていけば、そういう部分で情報公開が行われるのがいいことだと思いますので、参考にこれから検討していければいいかなと考えます。

事務局、補足か何か、いいですか。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

私の手元にある過去二、三年ぐらいは、一部事務組合の件は載せていないのかなというふうに思いますが、今、委員長が言われたとおり、構成委員として議会の議員として行かれているところもあるので、いいかなとは思いますが、一応、議会外の話になるので、当然、向こうにも、これを載せますけどという話を通したほうが、もし載せるのであればですけども、いいかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

石山委員。

○（石山和生君）

何か話している感じなので話しちゃうと、特別委員会の話も、結構大きいことだったと思うので、1ページ使って話してもいいんじゃないかなと。今、4ページに議案一覧とあいのこになっていますけれども、1ページにしちゃって、説明というかはしてもいいんじゃないかなと思いました。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺は、次回の部分になると思うんですけど、ページ割として重要性ということを見ると、その辺も1ページ取って、十分皆さんに伝えるという部分でいいのかなと。その辺も次回のページ割で提案していただければいいかなと思います。

ほかはよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、今回は編集スケジュールについてとページ割について、一応、皆さんに確認していただいたということで、内容については以上になります。

3 その他

○議会広報特別委員長（原口康之君）

そのほか。

石山委員。

○（石山和生君）

議会改革特別委員会のBチームのほうでデジタル化の話をちょっと出しましたので、一応、管轄がそうすると議会改革のほうに移るので、以前話していたようなことはBチームのほうで話す

ことになってはしまいます。

なので、何かあれば、石山まで言っていただいて、ちょっと僕がまとめてBチームのほうに上げるといような形になるので、デジタル化において重要だと思ふようなことがあれば、お伝えください。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺も、大変、これから重要なことかなと私も考えますので、その辺、改革の中できっちりいろいろなことを検討していきたいと思ふますので、皆さん、案のほうがありましたら、ぜひ、石山委員のほうまでお願いいたします。

そのほか、事務局のほう、何かあったらお願いします。

事務局。

○事務局書記（本杉周平君）

では、おおむねスケジュールはこれでということさせていただきます。

スケジュールの絡みもありますが、最終が7月25日の月曜日にはなっています。レイアウト案のほうで、三戸の記事を載せたいよという話をさせていただきました。第5回の広報が終わった後、三戸の方たちが来るものですから、委員会の中でその記事をもむという時間が少しないかなというふうに思ふますので、もし三戸の記事を載せるのであれば、私のほうでつくらせていただいて、タブレットに入れて見ていただくということはするかもしれませんが、最終的には正副委員長のほうで確認をしてもらって出すという形になるかなと思ふますので、その辺、ご了承いただければというふうに思ふます。

それと、あと、例えば市民会議とか、そういったのを案として挙げさせていただいております。もしよろしければ、各常任委員会から、皆様、出られていますので、各常任委員会でやられた市民会議の記事はその常任委員会に配属されている方々のほうで、例えば執筆をしていただいたほうが、私も片方にしか所属していないものですから、そのほうが、より議員さん目線で記事が書けるかなというふうに思ふますので、その辺はまた委員長と相談させていただいて、委員長の判断で、また今後、決定のほうをしていただければと思ふますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議会広報特別委員長（原口康之君）

その辺、常任委員会の市民会議についても、できれば割振りを決めて進めていきたいと思ふますので、各常任委員会の委員の皆さん、担当になると思ふますので、その辺もよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

ほかに皆さんから。大丈夫ですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（原口康之君）

それでは、第1回の議会広報特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。

[午前 10時38分 閉会]